

令和3年度 第2回見附市地域公共交通活性化協議会議事録（要旨）

令和4年2月22日（火）

午後1時30分～2時20分

見附市文化ホールアルカディア 小ホール

文責：事務局（見附市企画調整課）反町

【会議出席者】 委員 15/21名 オブザーバー0/2名 事務局 5/5名

（委員）

見附市長（協議会 会長）：稲田 亮

長岡技術科学大学名誉教授（協議会 会長）：佐野可寸志

越後交通（株）栃尾営業所長：西子嘉一

国土交通省北陸地方整備局長岡国道事務所計画課長：長谷川孝志

新潟県長岡地域振興局地域整備部計画調整課長：田中裕次

見附タクシー協議会副代表：鷲尾正司

国土交通省北陸運輸支局新潟運輸支局首席運輸企画専門官：島谷尚之（代理：近藤高弘）

見附警察署長：荒木勇人（代理：小林尚雄）

社会福祉協議会会長：大原敬之助

新潟県交通運輸産業労働組合協議会副議長：名古屋真一（代理：三浦正実）

新潟郵便局総務部副部長：谷三紀

北谷北部くさなぎコミュニティ会長：吉田忍

今町まちなかコミュニティ会長：小川登喜雄

葛巻地区まちづくり協議会会長：速水勉

見附市建設課長：宇之津 孝

（事務局）

見附市企画調整課長：田伏真

見附市企画調整課長補佐：遠藤拓央

見附市企画調整課：五十嵐直人

見附市企画調整課：笹井宏樹

見附市企画調整課：反町健斗

午後 1:30

司会

それでは定刻となりましたので、ただいまから、令和三年度第二回見附市公共交通活性化協議会を開会いたします。
はじめに協議会会長であります稲田市長より挨拶をさせていただきます。

会長

皆様、本日はご多用の中、お集まりいただき誠にありがとうございます。
昨年12月に見附市長に就任した、稲田亮でございます。見附市地域公

公共交通活性化協議会においては、会長として参加させていただきます。これからどうぞよろしくお願いいたします。

これまで国土交通省に勤務していた私にとって、ふるさとの交通に携われることを大変うれしく思っています。市民の貴重な足であり、市が掲げる歩いて暮らせるまちづくりに欠かせない公共交通の活性化にしっかり取り組んでまいります。

さて見附市では、委員の皆様からお力添えいただき、昨年3月に『見附市地域公共交通計画』を策定いたしました。この計画では、当市のまちづくりにおける最上位計画である「第5次見附市総合計画」の基本理念に基づき、まちづくり等の地域戦略と一体となった、持続可能な公共交通網を構築することを目的としています。

この目的を達成するために、計画にも記載してありますが、コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーの利用者数や収支率、交通空白地域の解消率など、持続可能な公共交通網の形成に向けた具体的な課題を評価指標として定め、それぞれ課題解決に向けた目標値を設定してあります。目標を数値化し、達成状況の確認と施策の効果検証を確実に行うとともに、昨今の新型コロナウイルスによる影響や、現在も国内外で変化し続ける公共交通サービスの動向に対しても注視し、必要に応じて現計画の見直しも行いながら、柔軟に対応していきたいと考えています

さて、見附市における今年度の取組みに目を向けますと、まずは、交通空白地域の解消に向けたコミュニティバスの運行ルートの見直しを検討いたしました。具体的には、人口が集中している葛巻地域へのコミュニティバス運行と、それに伴う池之内地域へのデマンド型乗合タクシー導入となります。地域特性に応じて適切な公共交通サービスを活用することは、運行に携わる車両台数や人員など、限りある資源を最大限に活用するために、非常に重要な視点であると考えています。

本日の会議では、令和4年度事業計画や予算などに関してご相談させていただきますが、委員の皆様におかれましては、見附市の公共交通の発展のためにも、様々な方向から、ぜひとも忌憚のないご意見・アイデアを頂戴できればと思います。

最後になりますが、新型コロナウイルスによる影響から、依然として厳しい状況に置かれながらも、感染対策も含め見附市の公共交通に多大なるご支援を頂いている運行事業者の皆様、その他にも様々なお立場から見附市の公共交通を支援していただいている委員各位におかれましては、いつも本当にありがとうございます。本日の会議においても、ぜひ活発なご意見をいただき、実りある会議となりますよう、宜しく願いいたします。

<p>司会</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の資料の確認をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 委員名簿 ➤ 座席表 ➤ 次第 ➤ 資料1 令和4年度の事業について（案） <ul style="list-style-type: none"> ・別紙1 コミュニティバス ダイヤ・ルート改正について ・別紙2 令和4年度コミュニティバス時刻表（案） ➤ 資料2 令和4年度収支予算（案） ➤ 資料3 生活交通確保維持改善計画（案） <p>以上、資料に不足はございませんでしょうか。</p> <p>なお、各委員のご紹介につきましては、委員名簿・座席表に代えさせていただきます。</p> <p>それでは議事に移りたいと思います。議長は、協議会規約第十二条第一項に基づき、当協議会会長である見附市長よりお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>まず、規約第十二条第二項の規定によりまして、委員の過半数が出席していることから、会議が成立していることを報告させていただきます。</p> <p>それでは次第3の議事に移りたいと思います。議事1「令和4年度の事業（案）」について事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局説明（資料1、別紙1～2）</p>
<p>会長</p>	<p>ただいまの説明について、ご質問等はありませんか。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>資料1の「4. その他」でデマンド型乗合タクシーの日祝運行を協議会予算ではなく見附市予算としている理由は？</p>
<p>事務局</p>	<p>日祝運行に関しては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業者支援策として、国からの交付金を活用しているため、協議会予算とは別枠で計上している。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>コミュニティバスの評価指標として、利用者数という大きな指標を設定することは良いことだが、これだけだと、次年度へのフィードバックがしにくい。フィードバックできるようなサブの指標として、例えばデマンド型乗合タクシーのように、運行効率化出来るように乗合率を設定してみたり、1人当たり何キロ走るのにいくら経費がかかっているか、なども見える化できると良いかと思った。</p>
<p>事務局</p>	<p>今ほどご指摘いただいたサブ指標の設定に関して、今すぐ回答することはできないが、できる限りデータを把握できるように努めていく。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご質問がないようですので、議事1「令和4年度の事業（案）」について、案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。</p>

	<p>ご異議がないようですので、案の通り承認することに決定しました。次に議事2「令和4年度収支予算(案)」について事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>事務局説明(資料2)</p>
会長	<p>ただいまの説明について、ご質問等はありませんか。 ご質問がないようですので、議事2「令和4年度収支予算(案)」につきまして、案の通り承認することでご異議ございませんでしょうか。 ご異議がないようですので、案の通り承認することに決定しました。以上で議事はすべて終了いたしました。マイクを司会にお返しします。</p>
司会	<p>続きまして次第4の報告事項に移ります。「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書」について事務局より説明をいたします。</p>
事務局	<p>事務局説明(資料3)</p>
司会	<p>ただいまの説明について、ご質疑はありませんか。 ご質問がないようですので、報告事項「地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書」につきまして、別紙3の通り国へ報告いたします。 最後に次第5「その他」となりますが、全体をとおして何かご意見などあるかたは挙手をお願いいたします。</p>
佐野委員	<p>今すぐにといい話ではないが、コミュニティバスの動態調査について、今はスマートフォンを持っている方も多いので、レンタサイクル同様に、バスも何かしらのアプリと連携すれば、乗降データも長期的に取得できるのではないかと。 また、長岡市の公共交通会議に出席していると、栃尾や中之島の方から、見附市の公共交通の方が便利といった声も聞く。こういった声をふまえ、他地域と協力できる点は協力していくと良いと思う。</p>
司会	<p>他にご意見はありませんか。</p>
会長	<p>今ほど佐野委員からいただいたご意見について、周辺地域との関係性については、見附市の範疇ではないにせよ、市域外からの要望がある場合は、協力することも考える必要があると思う。</p>
司会	<p>他にご意見などある方は挙手をお願いします。 ご意見が無いようですので、以上を持ちまして令和3年度第2回見附市地域公共交通活性化協議会を終了致します。本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>
<p>午後 2:20</p>	